

名前：

インターネットが本だけ店が、たと二  
で、新聞や雑誌などのニュースソースは依然  
として必要です。  
その理由は、まず第一にそれぞれが担うニ  
ュースの性質に違いがあり、全てをインタ  
ネットが兼ねるのは不可能であるように思わ  
れるからです。私の知るかぎりでは、インタ  
ネットのニュースはごく簡単にものをあ  
る場合とはとんとであり、詳しく知りたいと思  
えばやはり、別のニュースソースをあたる必要  
があります。しかし、新聞や雑誌の完全イ  
ンターネット化（全く同質の情報をインタ  
ネットで配信する）がもっと一般的になら  
ない限り（物質としての）新聞や雑誌は不用  
になるという反論が当然であるでしょう。そこ  
で、この問題が単に情報量だけの話ではない  
ことを考えていかねばなりません。新聞を  
読んで読む、というこの行為の根拠、これは  
新聞や雑誌を必要とする第二の理由です。  
確かに新聞をよって知る人は、特に一人

暮らしの人などは朝、新聞をぬくものや  
りにパソコンを起動させる、ということか  
らほとんど日常化してきています。しかし、やは  
り通勤電車の中では新聞をぬくものやソー  
ンかいてしようし、美容院では主婦が雑誌  
をぬくものやしよう。それは紙が軽く、開き  
やすく、比較的どんな姿勢でも見たことか  
で、ト類が4左にいたものだからでは  
いでしょう。また、何か飲み物をこぼした  
ところでは、新聞や雑誌を置いておけば済  
むことです。パソコンが一大事である。  
新聞や雑誌に限らず、デジタルなものの音  
及によって、マ+の+の存在意義が問  
われはじめています。しかし、そんなことを  
こそ、マ+の+の良さが再評価されるのでは  
ないでしょうか。新しい技術の登場によ  
って、これまでものの使用頻度が下がることはあ  
るも、それが不用になるという結論には至り  
ません。いつの時代も本を本に読むものと  
本の価値が、あるのではないうでしょうか？

1800字